

令和元年産 紀南の梅産地情報

19/04/19

1. 4月16日の定点調査では、小梅の着果数は前年より少なく・平年並みであった。古城は前年並みで・平年より多かった。主力の南高は前年よりやや多く・平年より多かった。(平坦部に着果が多く、山間部が少ない傾向)



定点調査の着果数（枝径2センチの枝当たり）と着果率

品 種	平成31年				平成30年		平年 (H21~30)	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	45.1%	125	79%	108%	39.3%	158	29.8%	116
古 城	10.2%	27	93%	142%	9.8%	29	5.7%	19
南 高	19.8%	52	118%	133%	13.9%	44	12.2%	39
在来系	11.0%	50	152%	132%	8.5%	33	11.8%	38

2. 4月12日時点の定点調査の実肥りは、小梅 13.0mm（平年比 107%）、古城 14.2mm（平年比 93%）、南高 15.8mm（平年比 94%）となっている。
3. 4月18日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 744 トン（前年比 69%、平年比 85%）、古城 530 トン（前年比 75%、平年比 83%）、南高 21,049 トン（前年比 82%、平年比 93%）、在来系 369 トン（前年比 64%、平年比 67%）を見込んでいる。
生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 販売開始時期は、現時点で小梅・古城は5月中旬頃から、南高は5月下旬頃からを予定している。
5. 結実後の気温は、3月はほぼ平年並みであったが、4月に入りやや低く推移し、降水量は平年より少なくなっている。また、一部の園地では昨年の台風による潮風害の影響や遅霜による低温障害が見られる。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	31年	30年	29年	平年	31年	30年	29年	平年
3月中旬	10.1	12.3	9.2	10.9	26.5	47.0	8.0	43.2
3月下旬	12.6	13.2	10.2	11.6	15.5	21.0	32.0	39.0
4月上旬	12.1	15.0	14.2	14.0	2.0	13.5	105.0	50.8

南紀白浜気象データより